

野木串子

新春号

平成 19 年 1 月 5 日発行

市議会だより

第6号

謹んで新年の  
挨拶を申し上げます



市民のみなさまの  
ご健康とご多幸を  
お祈り申し上げます

[illegible]

# 身近でわかりやすい市議会をめざして

いちき串木野市議会議長 竹之内 勉

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成 19 年の新春を、ご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中、市民の皆様方には市政各面にわたるご理解とご協力を賜り、併せて私ども市議会に対しましても格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて合併から 1 年余、私ども市議会においても新市まちづくりに向けた活発な議論を進めています。昨年3月には、厳しい行財政環境に対応すべく「行財政改革調査特別委員会」を設置しました。

これまで14回の委員会を開催、「行政改革大綱」や「行政改革推進計画」等の審議をはじめ効率的な行財政運営について調査し、昨年6月と9月には本市が重点的に取り組むべき課題や問題点等をまとめ本会議での中間報告として提言をしました。

自己決定、自己責任を原則とする分権型社会の到来を迎え、議会自らの改革についても検討を進めています。自ら政策を立案し提言できるよう議員資質の向上に努めるとともに、議員定数については近く議員定数調査特別委員会（仮称）を設置、平成21年度に予定される次回選挙に向けた見直しをいたします。また、議会審議を充実し、市民に身近で開かれた議会づくりのため、「一問一答制」「住民や住民団体との懇談会」「夜間・休日議会」について検討を進めています。このうち、本会議の一般質問での「一問一答制」は昨年12月議会から試行的に導入し、問題点が明確になり活発な議論とともに傍聴者等に

も内容がわかりやすいと、おおむね良い評価がされているようです。

昨年9月には「市来一般廃棄物利用エネルギーセンター調査特別委員会」を設置しました。旧市来町において、平成16年3月に完成したものの、本来の能力発揮に至っていない同施設について、今後の運営のあり方を中心に、施設に係る諸問題の調査研究を目的として、これまで4回の委員会を開催しました。今回は第三者機関の財団法人日本環境衛生センター技術者を参考人として招致し、施設の調査結果報告書をもとに、不具合箇所やその原因、改善方策について質疑をしました。

国内・海外でも初めてのシステムとされ、技術的にも難しい問題を抱えておりますが、現状を正しく捉え、あらゆる角度から今後の方向性を検討していきたいと考えています。

新市がスタートして1年余、取り巻く環境は極めて厳しいものがありますが、私ども市議会としても、地域の特性を活かした特色あるまちづくりとともに市民に身近でわかりやすい議会をめざして取り組んでいきたいと思っております。

2007年の年頭に当たり、市民が真に幸せを実感できる心豊かなまちづくりが進むことを心から念願するとともに、市民の皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈りし、本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、新年の挨拶いたします。

議員は公職選挙法により、選挙区内における年賀状等のあいさつ状は禁止されています。

（ただし、答礼のための自筆によるものは除きます。）

市民の皆様のご理解をお願いいたします。